



佐々木 哲夫 教授

# 佐々木 哲夫 教授 略歴・主要業績

生年月日 1949（昭和24）年7月11日

## 学 歴

- 1968（昭和43）年3月 宮城県仙台第二高等学校卒業  
 1972（昭和47）年3月 東北大学工学部精密工学科卒業（工学士）  
 1974（昭和49）年3月 東北大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了（工学修士）  
 1978（昭和53）年3月 聖書神学舎卒業（M.Div. equiv.）  
 1981（昭和56）-1983（昭和58）年 Trinity Evangelical Divinity School（The Degree of Master of Theology）  
 1983（昭和58）-1984（昭和59）年 The University of Chicago（The Department of Near Eastern Studies, Full-time Graduate Student）  
 1984（昭和59）-1986（昭和61）年 Lutheran School of Theology at Chicago（The Degree of Master of Theology）  
 1999（平成11）年6月 アジア神学大学院日本校神学博士課程修了（The Degree of Doctor of Theology）

## 職 歴

- 1974（昭和49）年4月 日本精工株式会社技術研究所研究員〔昭和50年1月迄〕  
 1978（昭和53）年3月 日本同盟基督教団補教師准允  
 同年 4月 日本同盟基督教団清水福音教会主任担任教師〔昭和56年9月迄〕  
 1981（昭和56）年3月 日本同盟基督教団正教師按手  
 1987（昭和62）年4月 尚綱女学院短期大学（専任講師，助教授）〔平成5年3月迄〕  
 1993（平成5）年4月 東北学院大学助教授採用  
 同年 4月 東北学院大学宗教部副部長就任〔平成10年3月迄〕  
 同年 4月 東北学院大学キリスト教研究所所員就任〔現在に至る〕  
 同年 4月 東北学院大学カウンセリングセンター所員就任〔平成10年3月迄〕  
 同年 5月 日本基督教団正教師転入〔現在に至る〕  
 1995（平成7）年4月 東北学院大学キリスト教研究所主事就任〔平成10年3月迄〕  
 1996（平成8）年4月 宗教部副部長多賀城担当（工学部教授会祈祷及び幼稚園担当）就任〔平成10年3月迄〕  
 同年 4月 東北学院大学宗教音楽研究所所員就任〔平成10年3月迄〕  
 同年 4月 東北学院大学泉男子寄宿舎および泉女子寄宿舎舎監就任〔平成10年3月迄〕  
 1997（平成9）年4月 東北学院大学教授昇任〔教養学部〕〔平成23年3月迄〕  
 同年 4月 キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区広報委員就任〔平成11年6月迄〕

月迄]

- 1998 (平成 10) 年 4 月 東北学院大学宗教部長就任 [平成 27 年 3 月迄]  
 同年 4 月 学校法人東北学院評議員就任 [平成 27 年 3 月迄]  
 同年 4 月 東北学院大学宗教音楽研究所所長就任 [平成 18 年 3 月迄]  
 同年 4 月 東北学院大学カウンセリングセンター運営委員就任 [平成 27 年 3 月迄]  
 1999 (平成 11) 年 4 月 日本キリスト教学会東北支部理事就任 [現在に至る]  
 同年 6 月 キリスト教学学校教育同盟大学部会教育研究中央委員就任 [平成 27 年 6 月迄]  
 2006 (平成 18) 年 4 月 東北学院大学宗教音楽研究所所員就任 [平成 27 年 3 月迄]  
 2008 (平成 20) 年 6 月 学校法人東北学院理事就任 [現在に至る]  
 2010 (平成 22) 年 4 月 日本基督教団二本松教会幼稚園理事就任 [平成 27 年 3 月迄]  
 2011 (平成 23) 年 4 月 東北学院大学文学部教授に配置替 [現在に至る]  
 2014 (平成 26) 年 4 月 東北学院史資料センター所長就任 [平成 27 年 3 月迄]  
 2015 (平成 27) 年 4 月 学校法人東北学院院長就任 [現在に至る]

## 学 術 書

- 「マルコによる福音書第 11 章 12-14、20-26 節」『説教者のための聖書講解マルコによる福音書』  
 日本基督教団出版局, 1990 年, 271-276 頁  
 「ホセア書第 8 章 1-14 節」『説教者のための聖書講解 12 小預言書』日本基督教団出版局, 1992 年,  
 57-62 頁  
 「旧約聖書概論」『キリスト教入門』学術図書出版, 1992 年, 1-49 頁  
 『旧約聖書と戦争』教文館, 2000 年  
*The Concept of War in the Book of Judges: A Strategical Evaluation of the Wars of Gideon, Deborah, Samson, and Abimelech* (Tokyo: Gakujyutsu Tosho Shuppan-sha, 2001/8)  
 『はじめて学ぶキリスト教』教文館, 2002 年, 全 330 頁 (分担 161-330 頁)  
 「押川方義の誕生年をめぐって」『創設者の実績を通して見る東北学院の建学の精神』平成 21 年  
 度教育・学習方法等改善支援事業報告書, 2010 年, 3-14 頁  
 「戦争」『聖書神学事典』いのちのことば社, 2010 年, 493-496 頁  
 「異教」『聖書神学事典』いのちのことば社, 2010 年, 164-167 頁  
 「奴隷」『聖書神学事典』いのちのことば社, 2010 年, 537-538 頁  
 「東北学院草創期の宗教教育」『キリスト教教育と近代日本の知識人形成—東北学院を事例にし  
 て—』(平成 21 年度教育・学習方法等改善支援事業報告書) 東北学院, 2011 年, 7-25 頁  
 「旧約聖書は人間をどうみているか—友情・兄弟—」『旧約聖書を学ぶ人のために』世界思想社,  
 2012 年, 154-165 頁  
 「旧約聖書は人間をどうみているか—隣人・外国人・敵—」『旧約聖書を学ぶ人のために』世界思  
 想社, 2012 年, 166-176 頁  
 「バラと横浜バンド〜新潟伝道」『押川方義とその時代』東北学院, 2013 年, 24-31 頁

学術論文（審査あり）

- “The *Miktam* Psalms : Their Common Features And Their Origin.” Th.M. Thesis, Trinity Evangelical Divinity School (Illinois, U. S. A.), 1983.
- 「知恵とヤーウィズム：伝道の書 12 章 9-14 節をめぐって」『福音主義神学』19 集, 1988 年, 185-201 頁
- 「詩篇 55 篇 13 節の釈義」『Exegetica』創刊号, 1990 年, 1-6 頁
- 「詩篇 51 篇 8 節における知恵」『Exegetica』2 号, 1991 年, 49-55 頁
- 「詩篇 18 篇 5-6 節における死のメタファー」『Exegetica』3 号, 1992 年, 9-22 頁
- 「詩篇 2 篇 10 節の **נַחַל** の意味—ドラマの談話分析の視点から—」『Exegetica』4 号, 1993 年, 33-46 頁
- 「『謎』の意味（詩 49 : 5）」『Exegetica』5 号, 1994 年, 1-11 頁
- 「安息日における仕事（民 15 : 32-36）」『Exegetica』6 号, 1995 年, 49-58 頁
- 「隠喩表現としての **רָחַב**（詩篇 89 篇 11 節）」『Exegetica』7 号, 1996 年, 19-29 頁
- 「旧約聖書の戦争に関する研究小史」『福音主義神学』27 号, 1996 年, 5-29 頁
- 「主の霊は『覆う』のか『着る』のか（士師記 6 章 34 節の **לָבַשׁ**）」『Exegetica』8 号, 1997 年, 25-34 頁
- 「知恵の霊（**רוּחַ חֵכְמָה**）：申命記 34 章 9 節」『Exegetica』9 号, 1998 年, 13-20 頁
- “Battles in the Book of Judges from Strategical Viewpoints : Gideon, Deborah, Samson, and Abimelech.” Th.D.dissertation, The Asia Graduate School of Theology, 1999.
- 「士師記の構成と編集」『Exegetica』10 号, 1999 年, 77-88 頁
- 「ベニヤミン民族への報復とタリオの原則—士師記 19-21 章—」『Exegetica』11 号, 2000 年, 53-62 頁
- 「『取り戻し』という『救い』—士師記 11 章 26 節の **נָחַל**—」『Exegetica』13 号, 2002 年, 47-53 頁
- 「救いの誘因—士師記 10 章 6-16 節—」『Exegetica』14 号, 2003 年, 43-50 頁
- 「サムソンの祈りにおける「復讐」の意味—士師記 16 章 28 節の **נִקְמָה**—」『Exegetica』15 号, 2004 年, 43-52 頁
- 「士師記 1 章 8 節の前置詞 **כִּי**」『Exegetica』16 号, 2005 年, 45-53 頁
- 「旧約聖書・戦争と平和」『季刊教会』67 号, 2007 年, 4-11 頁
- 「**אִרְדִּית** の時間感覚」『Exegetica』19 号, 2008 年, 37-50 頁
- 「いのちの始まり（エレ 1 : 5, 詩 139 : 16）」『Exegetica』20 号, 2009 年, 15-25 頁
- 「『安息日を覚えよ』（出 20 : 8）の意味」『Exegetica』24 号, 2013 年, 49-58 頁
- 「第五戒における **לִמְנוּחַי**」『Exegetica』25 号, 2014 年 12 月, 37-47 頁

学術論文（審査なし）

- 「伝道の書第 1 章 3-11 節の構成と意義」『尚綱女学院短期大学研究報告』34 集, 1987 年, 13-22 頁
- 「伝道の書第 3 章 1-15 節における伝道者の信仰」『尚綱女学院短期大学研究報告』35 集, 1988 年,

- 13-22 頁  
 「あなたの造り主を覚えよ：伝道の書 12 章 1a 節の意味」『尚綱女学院短期大学研究報告』36 集、1989 年、11-12 頁
- 「伝道の書第 9 章における死と知恵」『途上』20 号、1991 年、41-56 頁
- 「『コヘレトの言葉』訳評」『Exegetica』5 号、1994 年、99-104 頁
- 「ギデオンの戦いにおける角笛 שופר (士師記 7 章)」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』創刊号、1997 年、5-6 頁
- 「ギデオンの戦いは聖戦か」『東北学院大学キリスト教研究所紀要』15 号、1997 年、13-25 頁
- 「ギデオンの戦いの背景：士師記 6 章 1-6 節」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』2 号、1998 年、5-8 頁
- 「ギデオン物語における戦略と戦術」『東北学院大学キリスト教研究所紀要』16 号、1998 年、21-37 頁
- 「サムソン物語における戦争」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』3 号、1999 年、7-13 頁
- 「アビメレクの戦い」『東北学院大学キリスト教文化研究所紀要』17 号、1999 年、27-40 頁
- 「デボラ物語における戦争」『東北学院大学論集『教会と神学』』31 号、1999 年、203-228 頁
- 「士師時代の年代決定」『東北学院大学論集『教会と神学』』32 号、2000 年、133-146 頁
- 「ミクタム詩編の特徴と起源 (1)」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』4 号、2000 年、1-8 頁
- 「ミクタム詩編の特徴と起源 (2)」『東北学院大学論集『教会と神学』』33 号、2001 年、139-63 頁
- 「ミクタム詩編の特徴と起源 (3)」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』5 号、2001 年、1-8 頁
- 「ミクタム詩編の特徴と起源 (4)」『東北学院大学論集『教会と神学』』34 号、2002 年、127-144 頁
- 「平和への諸相—2001 年 9 月 11 日の衝撃—」『東北学院大学教養学部論集「人間・言語・情報」』136 号、2003 年、1-20 頁
- 「平和・シャローム (שלום)・聖戦 (ジハード)」『東北学院大学キリスト教研究所紀要』22 号、2004 年、132-39 頁
- 「旧約聖書の楽器ネルー琴か豎琴か—」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』11 号、2007 年、6-12 頁
- 「ロボットとキリスト教—ロボット開発と創造信仰の相対—」『東北学院大学教養学部論集』151 号、2008 年、1-17 頁
- 「旧約聖書の楽器トファーエゼキエル書 28 章 13 節の翻訳を巡って—」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』13 号、2009 年、67-72 頁
- 「テラフィムの実相」『人文と神学』東北学院大学文学部総合人文学科論集 2 号、2012 年、1-13 頁
- 「旧約聖書からの説教：実践的課題」『人文と神学』東北学院大学文学部総合人文学科論集 4 号、2013 年、69-80 頁
- 「ダニエル書 3 章 7 節の風琴」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』18 号、2014 年、9-15 頁
- 「神の言葉の焔出によるヨブ記エリフ弁論の要点—因果応報の原理と不条理の超克—」『人文と神学』東北学院大学文学部総合人文学科論集 12 号、2017 年、15-36 頁

一般著書・論文・エッセー（専門分野）

- 「旧約聖書と信仰—ギルガメッシュ叙事詩とノアの箱舟—」『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』5号, 2001年, 26-27頁
- 「東北学院大学のチャプレンシー確立をめぐる」『東北学院大学・青山学院大学, 合同チャプレン会議報告書』15号, 1997年, 9-19頁
- 「『預言』でない『予言』の偽り—ノストラダムスの7月を前に—」毎日新聞夕刊, 1999年6月24日(木)
- 「『礼拝する共同体』出エジプト記20章8節-11節, ルカによる福音書6章1節-5節」『第22回東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』16号, 1999年, 2-5頁
- 「ルカによる福音書16章1-13節」『第23回東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』17号, 2000年, 2-5頁
- 「恵みと平和」『第24回東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』18号, 2001年, 20-22頁
- 「立ち返れ」『第25回東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』19号, 2002年, 2-5頁
- 「利益もないのに」『第26回東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』20号, 2003年, 2-4頁
- 「耳を傾けよ」『第27回東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』21号, 2004年, 24-27頁
- 「聖書を読むということ」『季刊教会』77号, 2009年, 72-73頁
- 「心を尽くし, 魂を尽くし」『東北学院大学総合人文学科通信』3号, 2013年, 2-3頁
- 「東北学院と仙台伝道」『日本基督教団福音主義教会連合』459号, 2015年, 5-6頁
- 「社会活動家としての松田順平」『東北学院史資料センター年報』創刊号, 2016年, 3-5頁

書評・論評（専門分野及び専門分野に隣接する分野の著作・論文など）

- （書評）「伝道者の信仰」『聖書と教会』4月号, 日本基督教団出版局, 1989年, 47-48頁
- （書評）「創造の秩序への再認識」『聖書と教会』9月号, 日本基督教団出版局, 1989年, 44-45頁
- （書評）R・N・ワイブレイ著（山我哲雄訳）「モーセ五書入門」『本の広場』480号, キリスト教文書センター, 1998年9月, 10-11頁
- （書評）S. ヘルマン W. クライバー著（樋口進訳）「よくわかるイスラエル史—アブラハムからバル・コクバまで—」『信徒の友』6月号, 日本基督教団出版局, 2003年6月, 69頁
- （書評）土戸清『なぜキリスト教—規範なき時代のキリスト教—』『キリスト新聞』2849号, キリスト新聞社, 2003年11月15日, 6面
- （書評）『ヨセフの見た夢』『クリスチャン新聞』2004年3月21日, 2面
- （書評）『古代イスラエルにおける聖戦』『本のひろば』9号2006年9月1日, 12-13頁
- （書評）「2007年キリスト教書読書アンケート」『本のひろば—増刊号2007—』586号, 日本キリスト教書販売, 2007年3月, 20-21頁
- （書評）「2009年キリスト教書『私が選んだ3冊』」『本のひろば—増刊号2009—』日本キリスト

- 教書販売, 2009年4月, 29頁
- 「形成のことば」『形成』461号, 滝野川教会, 2009年6月, 見返し
- 「カトリック学校とプロテスタント学校の連携について」『日本カトリック教育研究』27号, 2010年, 27-30頁
- 「日本におけるキリスト教学校(1)キリスト教大学の今日的課題」『ユーオディア会報みちしるべ』78号, 2010年1月/2月, 2頁
- 「日本におけるキリスト教学校(2)キリスト教大学の日本的諸相」『ユーオディア会報みちしるべ』79号, 2010年3月/4月, 2頁
- 「日本におけるキリスト教学校(3)大学の変容と全人教育」『ユーオディア会報みちしるべ』80号, 2010年5月/6月, 2頁
- 「日本におけるキリスト教学校(4)必修『キリスト教学』の意義」『ユーオディア会報みちしるべ』81号, 2010年7/8月, 2頁
- 「日本におけるキリスト教学校(5)学校(大学)礼拝の意義」『ユーオディア会報みちしるべ』82号, 2010年9/10月, 2頁
- 「日本におけるキリスト教学校(6)キリスト教学校の自己点検」『ユーオディア会報みちしるべ』83号, 2010年11/12月, 2頁
- 「Life, Light, Loveの東北学院」『100周年記念誌—東北・北海道地区—』キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区協議会, 2010年12月10日, 22-23頁
- 「『東北学院時報』の使命」『東北学院時報』700号, 2011年1月15日, 2頁
- 「大震災から復興へ—東北学院大学—」『キリスト教学校教育』643号, 2011年5月15日, 2頁
- 「大震災から復興へ—東北学院大学—」『ATA/J・AGST/J ニュース』19号, 2011年5月31日, ①-②頁
- 「東北学院大学の紹介」『洗足』日本基督教団洗足教会月報, 12号, 2012年1月8日, 9頁
- 「総合人文学科『大学生活入門』と『クリティカル・シンキング』の意義」『東北学院大学FDニュース』No. 17, 2012年10月31日, 28-29頁
- 「わが大学史の一場面—日本の近代化と大学の歴史—『世の光, わがほこり, いざほめよやともよ』」『大学時報』日本私立大学連盟, 352号, 2013年9月, 104-111頁

#### 研究発表・講演

- 「コーヘレスの信仰に関する一考察」『日本基督教学会第22回東北支部学術大会』1989年3月13日(月), 東北学院大学
- 「伝道者の書における『知恵』」『日本福音主義神学会東部部会旧約部門研究会』1991年1月28日(月), 浜田山キリスト教会(東京都杉並区)
- 「私たちはキリスト教大学にどのように貢献するか」『混迷の時代に希望を—新しい伝統の創造—』キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区教育研究集会大学部会・発題講演, 1997年8月21日
- 「ギデオン物語における戦術と戦略」日本旧約学会東部部会学術大会, 1998年5月27日
- 「士師たちの戦い」東北学院大学キリスト教研究所第17回文化講座公開講演, 1998年10月27日
- 「士師記における聖戦(1)-(4)」神戸ルーテル神学校秋期リフレッシュ・コース特別講義, 神戸ルー

- テル神学校, 1999年10月26日(火)-27日(水)
- 「旧約聖書と信仰—エルガメッシュ叙事詩とノアの箱舟」東北学院大学宗教音楽研究所公開講座『第5回パイプオルガン演奏法』開講記念講演会, 東北学院大学泉キャンパス礼拝堂, 2000年6月5日(月)
- 「ベニヤミン民族への報復とタリオの原則—士師記19-21章—」日本基督教会全国学術大会研究発表, 青山学院大学, 2000年10月13日(金)
- 「士師記に描かれている戦争の実体とその今日的意義」東北学院大学キリスト教文化研究所第19回文化講座公開講演, 2000年10月27日(金)
- 「旧約聖書と戦争: 士師記における戦いと今日的意義」仙台キリスト教連合平和を求めるキリスト者祈祷会, カトリック仙台司教区センター元寺小路教会, 2001年7月12日(日)
- 「日本に於けるキリスト教宣教の現状と今後の課題」日本基督教団東北教区仙南地区連合婦人会修養会, 日本基督教団白石教会, 2001年9月13日(木)
- 「9月11日の衝撃—国際秩序の地殻変動」東京ミッション研究所フォーラム講演, 東京お茶の水キリスト教会館, 2002年1月21日(月)
- 「神の言葉としての聖書」福島信夫教会研修会講演, 2002年1月27日(日)
- 「旧約聖書と戦争—士師の戦いは聖戦か—」日本基督教会東北支部学術大会・講演, 東北大学, 2002年6月21日(土)
- 「旧約聖書積義—サムソンの復讐—」『聖書講義』東北学院大学サマーカレッジ, 青根エコーホテル, 2002年8月3日(土)
- 「サムソンの祈りにおける『復讐』の意味」日本基督教会全国学術大会研究発表, 聖学院大学, 2002年9月21日(土)
- 「士師の戦いは聖戦か?」日本聖書学研究所・講演, 富坂キリスト教センター, 2003年3月10日(月) 17時-18時半
- 「新しい世紀における世界平和」東北学院大学キリスト教文化研究所「学内フォーラム」・発題, 東北学院大学, 2003年5月29日(木)
- 「平和・シャローム・聖戦」アジア神学研究会・講演(A.T.A. Japan & Korea Joint Theological Consultation at Westminster Graduate School of Theology in Seoul, Korea), 2003年11月7日(金)
- 「士師記の解釈: 前提的諸説(1)-(3), 士師記の解釈と翻訳の実際(1)-(3), 士師記の解釈: 関連する諸問題(1)-(3)」アジア神学大学院日本校特別講義, 神戸ルーテル神学校, 2004年4月26日(月), 5月10日(月), 6月14日(月)
- 「イスラエル定着期の歴史的研究と旧約理解の深まり(1)-(4)」神戸ルーテル神学校リフレッシュ・コース特別講義, 神戸ルーテル神学校, 2004年6月30日(水)-7月1日(木)
- 「旧約聖書を読む方法—士師記を題材にして—」東北学院大学キリスト教文化研究所第23回文化講座公開講演, 2004年10月29日
- 「士師記の戦争・平和・聖絶に関する一考察」日本福音主義神学会研究会, 東京お茶の水キリスト教会館, 2005年1月24日(月) 13時-17時
- 「**מַרְיָם**に関する一考察—士師記1:17, 21:11の**מַרְיָם**—」日本基督教会第53回学術大会, 研究発表, 関西学院大学, 2005年9月23日(金)
- 「カトリック学校とプロテスタント学校の連携について」日本カトリック教育学会第33回全国大会, 仙台白百合女子大学・仙台白百合学園中学高等学校, 2009年9月6日(日)



- 「聖書を読むということ」東北学院幼稚園教諭研修会，東北学院幼稚園，2010年7月23日（金）
- 「わたしにとっての人文教育と研究—総合人文学科の人文教育の意義と実践—」総合人文学科創設記念シンポジウム，東北学院大学押川ホール，2010年10月9日（土）
- 「キリスト教学校が担う二重の使命—東北学院を事例にして—」『伝道するキリスト教学校—礼拝・教室・教会の関わり—』キリスト教学校伝道協議会シンポジウム発題，東京神学大学，2011年5月28日（土）
- 『シンポジウム—アカデミック・ライティングの環境づくり—』（2011年2月26日関西大学文学部の参加報告）東北学院大学文学部FD講演会，東北学院大学，2011年6月17日（木）
- 「旧約聖書とイエス・キリストの言葉」日本基督教団横手教会創立記念講演会，日本基督教団横手教会，2011年10月30日（日）
- 「旧約聖書からの説教：実践的課題」『旧約聖書と説教』東北学院大学文学部総合人文学科第6回教職研修セミナー，2012年8月27日（月）
- 「発題：人間の基本」東北学院大学文学部総合人文学科第2回研修会，東北学院大学土樋キャンパス，2012年11月17日（土）
- 「大学礼拝と聖書」『聖書事業懇談会』日本聖書協会，TKP大手町カンファレンスセンター，2013年3月8日（金）
- 『「安息日を心に留める」(出20:8)の釈義的考察』日本基督教学会東北支部学術大会研究発表，東北学院大学，2013年6月15日（土）
- 「聖書に見る生と死の文化」『生と死の文化』東北学院大学文学部総合人文学科公開講座，土樋キャンパス5号館521教室，2014年7月21日（土）
- 「明治維新以降におけるキリスト教の歴史—信仰の受容と自立の歴史—」『仙台五橋教会講演会』日本基督教団仙台五橋教会，2014年8月31日（日）
- 「共に祈り共に生きよう」『日本キリスト教学校教育同盟第56回中高研究集会』東北学院中学校・高等学校，2014年9月11日（木）
- 「エリフ弁論の要点—神の言葉による焙出—」〔Crucial Point of Elihu's Argument Exposed by the Lord's Words〕日本基督教学会東北支部学術大会，土樋キャンパス，2016年6月18日（土）

#### 翻訳（学術書や原典など）

- R. E. クレメンツ『エレミヤ書』現代聖書注解，日本基督教団出版局，1991年，全359頁
- T. W. オーヴァーホルト著「エレミヤ書」『ハーパー聖書註解』教文館，1996年，635-680頁
- J. リッチズ著『イエスが生きた世界』（現代のイエス理解）新教出版社，1996年，全190頁
- A. E. カンダル著「士師記」『士師記・ルツ記』ティンデル聖書注解書，いのちのことば社，2006年，全200頁

#### 学会活動

- 1987年4月-(現在に至る) 日本基督教学会正会員
- 1987年9月-(現在に至る) 福音主義神学会正会員
- 1988年3月-(現在に至る) 日本旧約学会正会員

1990年7月-(現在に至る) 聖書釈義研究会正会員

2003年3月-(現在に至る) 日本聖書学研究所所員